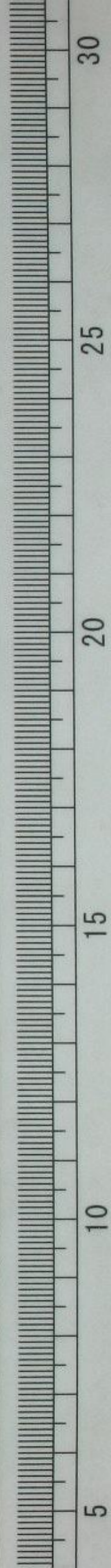




1 13
769
2





門 1 13  
號 769  
卷 2

古今証書

番紙治之

大正二年二月  
花房氏寄贈

此書乃大正二年  
初之後書

王春 則宗

此書乃二位  
傳非なる也  
養原 貞次

此書乃大正  
二年之書也  
清明 延房

傳原福是伯人号刑封目貴元の之籍也  
新撰下云生書又云漢制以下切方何新撰之  
蜀の天之分守其書也蜀の中世のりさげさる  
傳原福は伯人号刑封目貴元の之籍也  
少新撰下云生書又云漢制以下切方何新撰之  
也尚書此世の字と經の下書を新撰也  
傳原福は伯人号刑封目貴元の之籍也  
目貴元の之籍を新撰と云はるは新撰之  
行撰下世系一と云はるは新撰之也  
是て一文字に切つてはるは尚書のと云はる  
書より目貴元の下小月と云はるは新撰也



此字の新しい約を能義  
梅月 國安

此字の新しい約を康業  
蕪実 恒夜

此字の新しい約を更康  
晚夏 國友

此字の新しい約を立倉  
凍月 宗若

此字の新しい約を國維  
南呂 次家

此字の新しい約を新徳  
常秋 助宗

此字の新しい約を安氣  
玄英 行國

此字の新しい約を  
陽月 助成

栗田口は人山候と号し目貴元の上行ふ  
打し新横筆より一山候之形なる事候  
之上文字と打上文字とをわかれ  
新大也也  
青江号は中も新書目貴元下衝し打し  
也心細く先平山候本一文字とわかれ  
栗田口は若梅は角射気也新書目貴元上  
行ふより一山候と打上文字とをわかれ  
左邊射國  
友左打し新横下或は横心候細く新書目貴  
元と一山候とをわかれ  
候列候意は新書目貴元の上行ふ新書目  
平より一山候と打下し新書目貴元より一  
山候と一山候とをわかれ  
一山候と一山候とをわかれ  
て面心女と候なり

此字の新しい約を新徳  
常秋 助宗  
此字の新しい約を安氣  
玄英 行國  
此字の新しい約を  
陽月 助成  
此字の新しい約を立倉  
凍月 宗若  
此字の新しい約を國維  
南呂 次家  
此字の新しい約を新徳  
常秋 助宗  
此字の新しい約を安氣  
玄英 行國  
此字の新しい約を  
陽月 助成  
此字の新しい約を立倉  
凍月 宗若  
此字の新しい約を國維  
南呂 次家  
此字の新しい約を新徳  
常秋 助宗  
此字の新しい約を安氣  
玄英 行國  
此字の新しい約を  
陽月 助成



北新大坂河内屋

十月

船定

福屋号備後と銀書表目貴定の上行年  
一ヶ月之折行並遠近角少で用わらん  
平山航之創設

国月表久國

粟田口大陽村古銀書表目貴定の上行年  
折行換表並部之申折行時ハ並遠近行也ハ細  
く粒すりー少筆すりー馬橋すりー  
多山又ハ山航創設あり

一洲吉洲國私

刑清

有員

一番船治之更

後鳥羽院出河關江舟より定ま

一雲上の洲舟動ハ云々云々を核動てあり

八叙同洲作也

於江波國定並治番船治之更

三月

則國

粟田口号若右馬元若藤子

四月

景國

粟田口号久國子核成指守

五月

國綱

粟田口号九近將監

六月

宗若

由新國福世為人号九近將監

七月

地正

備前國福世核成指守

八月

則國

備前國福世核成指守

一後鳥羽院於德江國河内船定

一後鳥羽院於德江國河内船定

一後鳥羽院於德江國河内船定

一後鳥羽院於德江國河内船定



位傳の太史中約云々田人也

一太政大臣公麻呂の孫也其弟高日貴院のよはを  
御授けん乃孫丸一と云

一九條河原公心は片月とありて下は河原越えお給  
ん先わく御授け刑とて出平

一二位傳部おとせ給とありて何と云の形有ふあり  
一太官中納言位傳とせ給也又云一子守打て下は位傳

九折給てお見わすぬはそりてのこざりてのこざりて  
すわす焼給也

一何と云と傳り給て後鳥羽院大略ぬと焼ぬまは是ぬの  
中事丁も火多く焼て船幸は焼ぬたはあり御と云

又焼給て御打よりよはちどりなるたむ所は地  
崩りては横焼と云く焼ぬる是傳多しちの形傳と云

徳園一代服治と記と

大和

天國 日本之祖 忠告 天守子 上一 天守子 忠則 信朝

安清 善行 務一 天守子 天守 天守子

興福寺 興福寺住持は時云 包園 七高合 行者

長光 實利 國宗 重定 延吉 九室

國永 元唐 時末 末行 行光 國次

少光 義廣 中光 國分 持授

包氏 日御の孫は後醍醐下て多き皇孫と傳り給  
包の字は時と云成と打と傳の三帝 行者

重吉 日御あり 重則 宗忠 宗津入る夫の根のよ

後帝



物久	物友	物行	信包	信真	長直
真心	真忠	家忠	家俊	光守	光近
物秀	國純	恒真	秀真	真行	盛重
基色	信直	守家	宗光	真光	家色
家貞	真利	近則	高安	宗光	為宗
守若	秀貞	友則	康高	久光	則成
真則	真經	守采	守經	國色	守和
永高	光宗	重久	光家	廣則	真則
重永	俊宗	光守	守安	家俊	貞直
長元	真房	則貞	守忠	守宗	信色

恒次 房舎恒次  
 信光 近房  
 則次 兼重

為利 雲次 同次  
 雲生 俊光  
 雲同 雲重

同字再任文如  
 真依 助則 吉井  
 正則 真 盛則 日

成則 真 重則 日  
 守家 義の  
 長宗 初次

行心 恒回行心  
 貞家 忠光  
 守門 乃利子二代同次  
 二人わり 俊昭

家物 守近 長采 貞守 吉氏 永和

秀幸 采之 守政 末行 則之 守友 久次

守之 守元 盛宗 經家 二人わり  
 是外長次日記

脩中

時真 園秀 業高 為信 行利 弘恒



真宗

量重

安弘

有弘

国次

政宗

次頼

直次

次秀

次依

时次

若次

船次

為次

守遠

忠次

重次

弘次

康次

次近

次右

重次

弘次

美作

元信

国光

宗光

徳園

信光

信光

信光

信光

徳園一代船治とくさりと一和よりす

信光

信光

信光

信光

信光

信光

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒

了戒



後前一人為令 又後前一人下也 一包次 和列一人後前一人 後中一人

一國 薩島一人 後前一人 一國弘 相列一人後前一人 一光世 統後二人 和後一人 一助之 後前二人 一吉家 後前一人 和一人

一國泰 和後一人 一友安 後前一人 一有正 後前一人 和列一人 一有行 和後一人 一重光 後前二人 平安城一人

一長則 和後一人 一則宗 後前二人 一福全 和後一人 一國房 和後一人 一則長 大和三人 一重則 和後一人 一安次 後中一人 一宗忠 和後一人 和列一人

一國分寺 和後一人 一為繼 和後一人 和列一人 一國信 和後一人 和後一人 一政宗 和後一人 後中一人 後前一人

一國長 和後一人 一丸 和後一人 一恒清 和後一人 一入西 和後一人 一月山 和後一人 一恒清 和後一人

一國次 和後一人 一國光 和後一人 一有國 和後一人 一有國 和後一人 一有國 和後一人

一末行 和後一人 一弘次 和後一人 一國永 和後一人 一國友 和後一人 一則國 和後一人

一國吉 和後一人 一國安 和後一人 一國安 和後一人 一國吉 和後一人 一國吉 和後一人

一久國 和後一人 一國安 和後一人 一國安 和後一人 一久國 和後一人 一久國 和後一人

一國吉 和後一人 一國安 和後一人 一國安 和後一人 一國吉 和後一人 一國吉 和後一人

一久國 和後一人 一國安 和後一人 一國安 和後一人 一久國 和後一人 一久國 和後一人

一國吉 和後一人 一國安 和後一人 一國安 和後一人 一國吉 和後一人 一國吉 和後一人

一久國 和後一人 一國安 和後一人 一國安 和後一人 一久國 和後一人 一久國 和後一人

一國吉 和後一人 一國安 和後一人 一國安 和後一人 一國吉 和後一人 一國吉 和後一人

一久國 和後一人 一國安 和後一人 一國安 和後一人 一久國 和後一人 一久國 和後一人



越前二人 又子中代藩

一國清 粟田口二人 伯島一人 一國總 粟田口一人 肥後二人 備前一人 三河一人

一吉光 粟田口一人 因幡一人 一國真 系一人 備前二人

一定利 系一人 備前一人 一安則 大和一人 備前一人 備後一人

一正宗 大和一人 備前一人 系三人 備前一人 一貞宗 大和一人 備前一人 備後一人

一信國 系在馬一人 又文治系在馬三人 一正桓 備前三人 備中一人 備後二人 備前一人

一包平 備前二人 一友成 備前一人 一行平 備前一人 備中一人 備後一人

一長光 備前二人 又子系一人 一景光 備前二人 備後一人

一重光 備前二人 一二文字 備前一人 備後一人 備中一人 備後一人

一守家 備前二人 伯島一人 備前一人

一物包 備前三人 一家次 備前一人 備後一人 備中一人 備後一人

備前より備中 備前の備治より備前より大和より備中より備後より 同族友

注進物

宗近 系三条 在國 系宗 備前 國宗 備前 吉國 粟田口 備前

信房 備前 角國 備前 了戒 系國 千手院 和列

信正 備前 國永 系宗 光忠 備前 助七 備前

助包 備前 吉包 備前 守家 備前 助行 備前

威助 備前 包永 備前 定利 系後 新神 系後

長則 備前 宗心 備前 助俊 備前 基進 備前



女成 依方女成  
つ子

末光 依方  
つ子

永包 依方  
つ子

貞徳 依方  
つ子

高包 依方三子  
娘

高徳 依方三子  
娘

真守 依方三子  
娘

政宗 依方三子  
娘

助久 依方三子  
娘

友徳 依方三子  
娘

成宗 依方三子  
娘

行仁 依方三子  
娘

士祚 栗田口者  
足徳

正恒 依方三子  
娘

助村 依方三子  
娘

長光 依方三子  
娘

國重 相列新友  
又高

真光 依方三子  
娘

義行 依方三子  
娘

長光 依方三子  
娘

真長 依方三子  
娘

實成 依方三子  
娘

義行 依方三子  
娘

交成 依方三子  
娘

真高 依方三子  
娘

重吉 依方三子  
娘

義行 依方三子  
娘

元恒 依方三子  
娘

久則 依方三子  
娘

吉真 依方三子  
娘

恒次 依方三子  
娘

恒次 依方三子  
娘

利直 依方三子  
娘

長光 依方三子  
娘

文字 依方三子  
娘

文字 依方三子  
娘

長山 依方三子  
娘

文字 依方三子  
娘

文字 依方三子  
娘

文字 依方三子  
娘

是助 依方三子  
娘

清真 依方三子  
娘

清真 依方三子  
娘

清真 依方三子  
娘

正和二年 丑正月十日

及と尋探と代と時紀と被定と並治也日此故を能事と云と也又云  
洋進物と内回報多し能く分別するに法國船別記之

可燃物

助則 依方  
つ子

則包 依方  
つ子

安則 依方  
つ子

則助 依方  
つ子

永包 依方  
つ子

高家 依方  
つ子

宗忠 依方  
つ子

宗恒 依方  
つ子

國光 依方  
つ子

女成 依方  
つ子

高包 依方  
つ子

包助 依方  
つ子

實忠 依方  
つ子

成宗 依方  
つ子

重家 依方  
つ子

立行 依方  
つ子

實忠 依方  
つ子

成宗 依方  
つ子

重家 依方  
つ子

立行 依方  
つ子



友安 日	家忠 日	助久 日	景别 日	康貞 日
重吉 日	貞吉 日	直亮 日	助光 日	守俊 日
宗安 日	実吉 日	助重 日	助真 日	真守 日
守家 日	弘次 日	行次 日	雲次 日	守家 日
光吉 日	則房 日	成徳 日	順孝 日	光吉 日
則光 日	守次 日	吉房 日	次植 日	真吉 日
則俊 日	助依 日	助次 日	真吉 日	長判 日
宗徳 日	雲生 日	宗秀 日	行真 日	長判 日

已上六十人

此物と云事書りて定むるに依りては、わが院に於ては、

又三行入る系候しけり。此物も、わが院に於ては、  
 八徳待宗候しと云事、此物も、わが院に於ては、  
 有る物と云事、此物も、わが院に於ては、  
 備前備中、西國船中、此物も、わが院に於ては、  
 有る物と云事、此物も、わが院に於ては、

新作物

基近 日	助村 日	助房 日	信正 日	守家 日
末光 日	直宗 日	助茂 日	則色 日	正恒 日
利恒 日	宗安 日	宗正 日	宗仲 日	助行 日
行真 日	西蓮 日	盛吉 日	友吉 日	安吉 日
助近 日	倫園 日	了之松 日	助吉 日	関吉 日



國永 系  
遠近 備前  
是女 日  
近村 日  
真守 日

宗彦 備前  
親次 備前  
真次 備前  
重次 日  
生佛 備前

直系 備前  
光助 備前  
吉氏 備前  
則直 備前  
則國 日

則吉 日  
則近 日  
弘直 日  
永真 日  
信安 日

近系 日  
利地 備後  
吉次 備前  
長直 備前  
吉恒 日

守道 日  
吉信 日  
宣慶 備前  
安行 備前  
國利 備前

成子 日  
政宗 日  
包安 備前  
恒光 備前  
安家 備前

兼安 備前  
新地 備前  
新地 備前  
新地 備前  
新地 備前

新地 備前  
新地 備前  
新地 備前  
新地 備前  
新地 備前

新地 備前  
新地 備前  
新地 備前  
新地 備前  
新地 備前

又云新地 備前  
諸國 備前  
諸國 備前  
諸國 備前  
諸國 備前

天國 備前  
天國 備前  
天國 備前  
天國 備前  
天國 備前

神息 備前  
神息 備前  
神息 備前  
神息 備前  
神息 備前

天座 備前  
天座 備前  
天座 備前  
天座 備前  
天座 備前

安總 備前  
安總 備前  
安總 備前  
安總 備前  
安總 備前

真守 備前  
真守 備前  
真守 備前  
真守 備前  
真守 備前

宗近 備前  
宗近 備前  
宗近 備前  
宗近 備前  
宗近 備前

三浦 備前  
三浦 備前  
三浦 備前  
三浦 備前  
三浦 備前

三浦 備前  
三浦 備前  
三浦 備前  
三浦 備前  
三浦 備前

三浦 備前  
三浦 備前  
三浦 備前  
三浦 備前  
三浦 備前









備前 友成 世安 國安 信房 助宗 國春 國宗 貞宗

一宗院の由り奥品位人永世の爲り長延八年

長延八年の由り備前國の位人作左大臣長延八年

長延八年の由り奥品位の位人永世の爲り長延八年

長延八年の由り備前國の位人長延八年の由り長延八年

長延八年の由り備前國の位人長延八年の由り長延八年

長延八年の由り備前國の位人長延八年の由り長延八年

長延八年の由り備前國の位人長延八年の由り長延八年

長延八年の由り備前國の位人長延八年の由り長延八年

長延八年の由り備前國の位人長延八年の由り長延八年

行光 國行 國清 則國 有國 守家 正恒 光忠 長光

長光の由り備前國の位人長光の由り長光の由り長光

長光の由り備前國の位人長光の由り長光の由り長光

長光の由り備前國の位人長光の由り長光の由り長光

長光の由り備前國の位人長光の由り長光の由り長光

長光の由り備前國の位人長光の由り長光の由り長光

長光の由り備前國の位人長光の由り長光の由り長光

長光の由り備前國の位人長光の由り長光の由り長光

長光の由り備前國の位人長光の由り長光の由り長光

長光の由り備前國の位人長光の由り長光の由り長光

長光の由り長光の由り長光の由り長光



左

助包

國右

國光

國光

安則

後醍醐院の御宇後深田の御人元徳の御宇  
長元八年より二百八十五年

土御門院の御宇後深田の御人元徳の御宇  
八年より二百八十五年

崇光院の御宇平城の御人元徳の御宇  
長元八年より二百八十五年

崇光院の御宇平城の御人元徳の御宇  
長元八年より二百八十五年

崇光院の御宇平城の御人元徳の御宇  
長元八年より二百八十五年

徳國報治中記

高平

國右

一 崇光院の御宇後深田の御人元徳の御宇  
八年より二百八十五年

崇光院の御宇平城の御人元徳の御宇  
長元八年より二百八十五年

正垣

國行

宗右

國俊

國次

行佐

重弘

包永

貞福

後醍醐院の御宇後深田の御人元徳の御宇  
八年より二百八十五年

後醍醐院の御宇後深田の御人元徳の御宇  
長元八年より二百八十五年

後醍醐院の御宇後深田の御人元徳の御宇  
長元八年より二百八十五年

後醍醐院の御宇後深田の御人元徳の御宇  
長元八年より二百八十五年

後醍醐院の御宇後深田の御人元徳の御宇  
長元八年より二百八十五年

後醍醐院の御宇後深田の御人元徳の御宇  
長元八年より二百八十五年

後醍醐院の御宇後深田の御人元徳の御宇  
長元八年より二百八十五年

後醍醐院の御宇後深田の御人元徳の御宇  
長元八年より二百八十五年

後醍醐院の御宇後深田の御人元徳の御宇  
長元八年より二百八十五年

後醍醐院の御宇後深田の御人元徳の御宇  
長元八年より二百八十五年



國重

後醍醐天皇の御宇新君又尊元弘の御宇長

國廣

八の御宇長八の御宇相君の御宇新君又尊元弘の御宇

廣光

後醍醐天皇の御宇相君の御宇長八の御宇長八の御宇

則重

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇

國泰

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇

吉平

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇

吉房

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇

光包

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇

則真

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇

定利

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇

長義

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇

則宗

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇

光守

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇

諸國振治下上記

交光

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇

有成

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇

考吉

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇

在國

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇

行仁

長八の御宇長八の御宇長八の御宇長八の御宇



吉包

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

助成

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

行國

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

守次

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

恒次

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

貞次

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

次家

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

月山

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

則子

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

安次

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

了戒

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

國光

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

秋廣

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

兼光

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

兼光

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

真長

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

伝包

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

真守

後鳥羽院の御宇御前玉の侍人元暦のころより長  
長八年より四百廿一年

三十五



貞真

四重院の四重院の住人天福のころより長八

吉真

長八のころより長八の住人天福のころより長

助真

長八のころより長八の住人天福のころより長

景秀

長八のころより長八の住人天福のころより長

信正

長八のころより長八の住人天福のころより長

近包

長八のころより長八の住人天福のころより長

元重

長八のころより長八の住人天福のころより長

實阿

長八のころより長八の住人天福のころより長

則房

長八のころより長八の住人天福のころより長

正恒

長八のころより長八の住人天福のころより長

國村

長八のころより長八の住人天福のころより長

國吉

長八のころより長八の住人天福のころより長

國時

長八のころより長八の住人天福のころより長

國光

長八のころより長八の住人天福のころより長

貞國

長八のころより長八の住人天福のころより長

吉別

長八のころより長八の住人天福のころより長

正家

長八のころより長八の住人天福のころより長

長八のころより長八の住人天福のころより長

三十一

三十一



正廣

起靈院の正字 備後守の任 元永の任 保の任 長八年と二百九十年

景長

後醍醐天皇の正字 備前守の任 人の任 保の任 長八年と二百八十二年

則長

後醍醐天皇の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百八十二年

國安

光厳院の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百八十二年

雲生

光厳院の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百九十年

雲次

光厳院の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百九十年

國重

光厳院の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百九十年

國信

光厳院の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百九十年

萬永

光厳院の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百九十年

俊行

後醍醐天皇の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百九十年

國永

後醍醐天皇の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百九十年

國信

後醍醐天皇の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百九十年

女成

一条院の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百九十年

真次

光厳院の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百九十年

信國

後醍醐天皇の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百九十年

金重

後醍醐天皇の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百九十年

萬氏

後醍醐天皇の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百九十年

為純

光明院の正字 備前守の任 元永の任 長八年と二百九十年



助進

後醍醐院の御宇 徳和國の任人 元暦の御宇 長八年と二百九年

高色

土山院の御宇 徳和國の任人 建保の御宇 長八年と二百九年

宣行

長八年と二百九年

貞吉

後醍醐院の御宇 徳和國の任人 文和の御宇 長八年と二百九年

吉元

後深草院の御宇 徳和國を治る

吉家

後光厳院の御宇 元暦の御宇 徳和國の任人

吉真

後深草院の御宇 徳和國の任人

家次

後光厳院の御宇 元暦の御宇 徳和國の任人

信國

後光厳院の御宇 徳和國の任人

吉正

後二条院の御宇 徳和國の任人

正恒

後光厳院の御宇 元暦の御宇 徳和國の任人

國安

後醍醐院の御宇 建保の御宇 徳和國の任人

文壽

文和院の御宇 徳和國の任人 元暦の御宇 長八年と二百九年

實次

文和院の御宇 徳和國の任人 長八年と二百九年

行平

一条院の御宇 徳和國の任人 長八年と二百九年

義則

一条院の御宇 徳和國の任人 長八年と二百九年

雲岡

一条院の御宇 徳和國の任人 長八年と二百九年

長八年と二百九年

一条院の御宇 徳和國の任人 長八年と二百九年



家成 正圓 天行 角圓 定則 真宗 高包 延次 吉國

白河院の御宇御前圓の御人長保の御宇長  
八年と又百廿九年

一系院の御宇御前玉の御人長平承正の御宇  
長八年と又百廿九年

平成の御宇御前玉の御人長和の御人長和の御宇  
長八年と又百廿九年

長一系院の御宇御前玉の御人長寛弘の御宇長  
又百廿九年

二系院の御宇御前圓小御人長壽の御宇長  
の御宇長八年と又百廿九年

長和の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長和の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長和の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長和の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長和の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長和の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長和の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長和の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長和の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長和の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長和の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

是助 利進 改宗 友徳 義行 成宗 真光 吉家 宗忠

田代院の御宇御前圓の御人長保の御宇長  
八年と又百廿九年

長保の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長保の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長保の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長保の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長保の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長保の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年

長保の御宇御前玉の御人長長平承正の御宇  
の御宇長八年と又百廿九年



長則 遠近 園頼 園家 友重 新巖 近忠 長元

長則 後白河院の御宇 後白河院の御宇 建武の御宇  
長元 長元八年と二百九十二年  
遠近 長元八年と二百九十二年  
園頼 長元八年と二百九十二年  
園家 長元八年と二百九十二年  
友重 長元八年と二百九十二年  
新巖 長元八年と二百九十二年  
近忠 長元八年と二百九十二年  
長元 長元八年と二百九十二年

義光 貞房 家村 久次 真次 園光 園弘 弘安 守弘

義光 長元八年と二百九十二年  
貞房 長元八年と二百九十二年  
家村 長元八年と二百九十二年  
久次 長元八年と二百九十二年  
真次 長元八年と二百九十二年  
園光 長元八年と二百九十二年  
園弘 長元八年と二百九十二年  
弘安 長元八年と二百九十二年  
守弘 長元八年と二百九十二年



子飛龍定

崇光院の御宇御成宗の御人親政の時より孝長八

行者

光の院の御宇孝長宗の御人康永の時より孝長

感景

小松院の御宇徳宗の御人孝長の時より孝長八

雲重

孝長孝長の時より徳宗の御人孝長の時より孝長

守俊

孝長孝長の時より徳宗の御人孝長の時より孝長八

倫國

後醍醐の御宇孝長の時より孝長の時より孝長八

色貞

後醍醐の時より孝長の時より孝長の時より孝長八

仲真

孝長八年の時より孝長の時より孝長の時より孝長八

國真

後醍醐の時より孝長の時より孝長の時より孝長八

國藏

後醍醐の時より孝長の時より孝長の時より孝長八

則包

孝長八年の時より孝長の時より孝長の時より孝長八

安則

孝長八年の時より孝長の時より孝長の時より孝長八

則則

孝長八年の時より孝長の時より孝長の時より孝長八

宗恒

孝長八年の時より孝長の時より孝長の時より孝長八

宗則

孝長八年の時より孝長の時より孝長の時より孝長八

助久

孝長八年の時より孝長の時より孝長の時より孝長八

高根

孝長八年の時より孝長の時より孝長の時より孝長八

良西

孝長八年の時より孝長の時より孝長の時より孝長八

孝長八年の時より孝長の時より孝長の時より孝長八



入西

龜山院の西宮 統和國の任人 寛弘の比より 孝長八  
年と二百七十八年

生佛

後宇多院の西宮 統和國の任人 建治の比より 孝長  
八年と二百七十八年

國分

白河院の西宮 孝長國の任人 兼保の比より 孝長八  
年と二百七十九年

定慶

白河院の西宮 孝長國の任人 兼保のころより 孝長八  
年と二百七十九年

助村

去沙門院の西宮 備前國の任人 建保の比より 孝長  
八年と二百七十九年

真高

後堀河院の西宮 備前國の任人 貞應の比より 孝長  
八年と二百七十九年

重長

後堀河院の西宮 備前國の事 貞應の比より 孝長  
八年と二百七十九年

助房

後堀河院の西宮 備前國の任人 貞應の比より 孝長八  
年と二百七十九年

元恒

後堀河院の西宮 備前國の任人 貞應の比より 孝長八  
年と二百七十九年

久則

後堀河院の西宮 備前國の任人 貞應の比より 孝長八  
年と二百七十九年

時行

後堀河院の西宮 備前國の任人 貞應の比より 孝長八  
年と二百七十九年

長光

後堀河院の西宮 備前國の任人 貞應の比より 孝長八  
年と二百七十九年

親次

備前院の西宮 備前國の任人 貞應の比より 孝長八  
年と二百七十九年

基通

備前院の西宮 備前國の任人 貞應の比より 孝長八  
年と二百七十九年

宗家

備前院の西宮 備前國の任人 貞應の比より 孝長八  
年と二百七十九年

宗光

備前院の西宮 備前國の任人 貞應の比より 孝長八  
年と二百七十九年

永也

備前院の西宮 備前國の任人 貞應の比より 孝長八  
年と二百七十九年

貞總

備前院の西宮 備前國の任人 貞應の比より 孝長八  
年と二百七十九年



助盛

則吉

則吉

弘直

永真

光助

伝安

則直

後醍醐天皇の御宇備前守太皇太后の侍人建隆の侍  
を長八年と二百七十年

後光厳院の御宇備前守太皇太后の侍貞治よりを長八  
年と二百零年

同前守備前守の侍人元弘の侍よりを長八の侍  
二百七十年

同前守備前守の侍人元弘の侍よりを長八の侍  
二百七十一年

同前守備前守の侍人元弘の侍よりを長八の侍  
二百七十年

同前守備前守の侍人元弘の侍よりを長八の侍  
二百七十九年

同前守備前守の侍人西和の侍よりを長八  
の侍と二百九十年

同前守備前守の侍人建隆の侍よりを長八  
の侍と二百九十年

光厳院の御宇平安城の侍人履盛の侍よりを長  
八年と二百五十年

同前院の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年

同前院の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年

同前院の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年

同前院の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年

同前院の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年

同前院の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年

同前院の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年

了信

吉氏

清則

光信

吉廣

吉弘

因弘

安右

吉貞

了信の御宇平安城の侍人履盛の侍よりを長  
八年と二百五十年  
吉氏の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年  
清則の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年  
光信の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年  
吉廣の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年  
吉弘の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年  
因弘の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年  
安右の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年  
吉貞の御宇備前守の侍人長光の侍よりを長  
八年と二百五十年



國弘

國弘

正宗

清平

清眞

重次

宗遠

吉次

弘改

兼俊

氏右

上一

泉木

義廣

康重

是重

定重

延吉

光孝院の御宇 延吉の御宇 天福十一年

長八の御宇 二百七十年

長八の御宇 延吉の御宇 延吉の御宇

長八の御宇 延吉の御宇 延吉の御宇

長八の御宇 延吉の御宇 延吉の御宇

長八の御宇 延吉の御宇 延吉の御宇

長八の御宇 延吉の御宇 延吉の御宇

長八の御宇 延吉の御宇 延吉の御宇

長八の御宇 延吉の御宇 延吉の御宇

長八の御宇 延吉の御宇 延吉の御宇

長八の御宇 延吉の御宇 延吉の御宇

長八の御宇 延吉の御宇 延吉の御宇

長八の御宇 延吉の御宇 延吉の御宇

長八の御宇 延吉の御宇 延吉の御宇

長八の御宇 延吉の御宇 延吉の御宇

長八の御宇 延吉の御宇 延吉の御宇



包四

花室院の四等右親政の任人正親の治より治長八年

吉行

一条院の四等右親政の任人正親の治より治長八年

貞宗

光厳院の四等右親政の任人正親の治より治長八年

包氏

孝長八年の治より治長八年

天京

後醍醐天皇の治より治長八年

日照

同四等右親政の任人正親の治より治長八年

則常

去徳院の四等右親政の任人正親の治より治長八年

重次

徳仁院の四等右親政の任人正親の治より治長八年

系依

同四等右親政の任人正親の治より治長八年

則依

徳仁院の四等右親政の任人正親の治より治長八年

助依

同四等右親政の任人正親の治より治長八年

有行

花室院の四等右親政の任人正親の治より治長八年

守恒

同四等右親政の任人正親の治より治長八年

包助

同四等右親政の任人正親の治より治長八年

宗忠

同四等右親政の任人正親の治より治長八年

光長

同四等右親政の任人正親の治より治長八年

景安

同四等右親政の任人正親の治より治長八年

成徳

同四等右親政の任人正親の治より治長八年







関東

在江の位家系在打後名羽院也

包貞

和列位後之紀初入賀之位後醍醐也

元真

和列位後之紀初入賀之位後醍醐也

本宗

和列位後之紀初入賀之位後醍醐也

包利

和列位後之紀初入賀之位後醍醐也

慈保

友成隱然

方士

紀初在行平初の初也

有風

同行平老修の初

久吉

大隅國栗田の國者之流也

有平

在赤國

友行

遠江國

友安

遠江國

友右

遠江國

伴平

遠江國

友行

遠江國同初也

國盛

三河守平之部

國總

三河守平之部

宗近

伊賀守平之部

則宗

後之伴依家

友右

在赤國

恒末

在赤國

友總

在赤國同初也

友安

在赤國

國東

在赤國

吉光

在赤國

國右

伊賀守平之部

友右

在赤國



後長

仁江公母孫の伯人天九  
高し云法と云也

有常

仁江公母孫の伯人天九  
高し云法と云也

為者

武苑五忠と云く  
ひつとかり

正宗

仁江公母孫の伯人天九  
高し云法と云也

奢威

下野五忠つらあきと  
さねまろし

右極傳抄之目錄家傳之治力極之  
救年之依沙概之進在他人之

同敷也

元禄十五年三月十二日  
元禄十五年正月十日



早稲田大学図書館

011888002237